BATJ Journal 投稿 案内

英国日本語教育学会（The British Association for Teaching Japanese as a Foreign Language、通称 BATJ）では、日本語教育を研究分野のひとつとして位置付け、会員相互の理解を深め、研究や実践発表の場を提供する目的で学会誌「BATJ Journal」を毎年 9 月に発行しています。会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

1. **投稿資格**：原稿提出時に BATJ 会員であることとします。共同執筆の場合は、筆頭著者が会員であることとします。

2. **内容区分**：以下の５部門のうちいずれかに該当し、英国およびヨーロッパの日本語教育に寄与（間接的な貢献でも可）するもの。また、未刊行のものであり、他誌に提出していないものに限ります。論文の部・ノートの部・書評の部は査読あり、論文紹介の部・年次大会発表報告書の部は原則的に査読なしとします（詳細は 6 をご参照ください）。 以下の字数およびページ数（注・参考文献・図表を含める）は目安とします。ご不明な点がある場合は journal @ batj.org.uk までご連絡ください。

a) **論文の部：**

研究論文：日本語教育学、及び日本語教育実践に寄与する可能性のある関連分野において、オリジナルな知見提供を含む学術論文。
使用言語・長さ：日本語 20,000 字以内、英語 10,000 語以内とし、16 ページまでが望ましい。

調査・実践研究論文：日本語教育の教育実践において、実践研究および教育活動に資する内容の調査結果または実践例の報告が、明確な根拠および趣旨に基づいて述べられているもの。
使用言語・長さ：日本語 20,000 字以内、英語 10,000 語以内とし、16 ページまでが望ましい。

b) **ノートの部**：

研究ノート： 日本語教育の分野における萌芽的研究。将来の研究の基礎となる、あるいは優れた研究に発展する可能性のある内容のもの。
使用言語・長さ：日本語 10,000 字以内、英語 5,000 語以内とし、8 ページまでが望ましい。

調査・実践研究ノート：日本語教育の現場における、調査報告、実践報告。将来の教育活動に広く示唆を与えるもの。
使用言語・長さ：日本語 10,000 字以内、英語 5,000 語以内とし、8 ページまでが望ましい。

c) **書評の部**：原則として刊行後３年以内で、日本語教育に関連する学術書、実践書、教材、辞典または関連領域（応用言語学、第二言語習得、日本語学、言語政策、異文化理解など）の書籍の書評に限る。書評は、書籍の内容紹介にとどまらず、英国およびヨーロッパの日本語教育分野における意義や特徴を踏まえた分析的・評価的な検討を含めること。冒頭に、書籍情報（著者名・書名・出版社・刊行年・ISBN 等）を明記すること。
使用言語・長さ：日本語または英語。2 ページ程度にまとめること。

d) **修士論文・博士論文紹介の部**：過去 3 年以内に日本語教育またはそれに関連する分野において修士号・博士号を獲得した論文に限る。論文の単なる内容紹介にとどまらず、英国およびヨーロッパの日本語教育関連分野における意義や特徴を踏まえた評価的検討を含めること。冒頭に、所属機関

名・専攻コース名に加えて、取得済み学位（例：MA, MSc, MRes、MPhil、PhD など）と取得年を明記すること。
使用言語・長さ：日本語または英語。2 ページ程度にまとめること。

e) **年次大会発表報告書の部：**その年度の BATJ 年次大会での発表内容をまとめた報告書。大会発表からさらに改善・内容を追加した場合は、「論文の部」または「ノートの部」にご提出ください。
使用言語・長さ：日本語または英語。３－４ページ程度にまとめること。

3. **提出方法：**提出の際には、以下の資料をまとめて添付ファイルとして、ジャーナルコーディネータ（journal @ batj.org.uk）宛てにご提出ください。

a) **原稿：**サンプル文書（https://batj.org.uk/journal/よりダウンロード可）に上書きして作成した編集可能な原稿（.docx または .odt 形式）と、その PDF 版を添付してください。指定された形式での原稿作成が難しい場合は、ジャーナル・コーディネーターまでお問い合わせください。執筆の書式については、BATJ ホームページ内（https://batj.org.uk/journal/）の「執筆基準」をご参照ください。

b) **投稿原稿提出用紙**（https://batj.org.uk/journal/ からダウンロード可）に必要事項をご記入のうえ、原稿と合わせてご提出ください。「投稿原稿提出用紙」では、以下の項目について申告していただく必要があります。詳しくは投稿原稿提出用紙をご参照ください。

- **BATJ ジャーナルとの整合性：**ご提出の原稿がどのように「英国およびヨーロッパの日本語教育」に寄与し得るか（間接的な貢献でも可）、所定欄に簡潔にご記入ください。
- **研究倫理**：所属機関の倫理審査を受けている場合は、その旨を記載してください。機関に所属せずに投稿される場合は、UK Research Integrity Office の Advice for independent researchers and small charities を参考にしてください。
- **生成 AI 使用**：使用した場合はその具体的な使用方法や内容をご申告ください。
- **著作権：**図表等の引用が必要な場合、著作権法に従い、必要に応じて著者または出版社の許諾を得ているかご申告ください。
- **（査読部門の場合のみ）査読時の匿名性**：執筆者名や所属機関名を本文に記載していないこと、また自身の著書に本文で言及する場合は 「Blinded for review」 とし匿名にしていることを確認してください。原稿本文中および付録等のいかなる部分においても、データ収集に関わった人物名や機関名など、特定につながる情報が含まれないようご配慮ください。

c) **要旨（日本語と英語）**：サンプル文書（https://batj.org.uk/journal/よりダウンロード可）に上書きし、日本語 400 字に加え、英語 200 語程度で１ページ以内にまとめること。「年次大会発表報告書の部」「修士論文・博士論文紹介の部」「書評」への提出の場合は要旨は必要ない。

4. **提出の際の注意事項**：

- 生成 AI を利用する場合は、生成物の正確性・出典・引用情報の真正性について、著者ご自身で必ず確認してください。生成 AI は不正確な内容や実在しない文献情報を生成することがあ

り、そのまま使用することは研究倫理上の重大な問題となります。投稿内容の責任は著者にあります。研究の信頼性を確保するため、AI 生成物の利用は補助的な範囲にとどめ、最終的な判断および批判的検証は必ず著者ご自身が行ってください。また、AI を使用した場合は、どのように使用したかを投稿提出用紙に必ず詳細に記入してください。不明な点がある場合は、以下の UK Research Integrity Office のガイダンス（https://ukrio.org/news/hepi-policy-note-highlights-ukrios-ai-guidance/）を参照のうえ、提出前にコーディネーターへお問い合わせください。

- 本誌の趣旨に合致しない原稿（例：英国・欧州の日本語教育との関連性が不明確なもの）、研究倫理上の問題が疑われるもの、他誌への投稿内容と重複するもの、内容の信頼性が確保されていないもの〔生成 AI による誤情報・Hallucination を含む〕、誤字脱字が多く構成や内容が不明瞭なもの等については、査読手続きに移行する前に編集委員会の判断で不採択とする場合があります。また、査読なし部門に関しても同様の理由で掲載を見送る判断をすることがあります。投稿前に、本誌の目的および投稿規定をご確認のうえ、内容の適切性・研究の真正性・論文の内容や構成の明瞭さに十分ご留意ください。

5. **各部門の締め切りの目安：**全ての部門において、投稿は随時受け付けます。ただし、その年度のジャーナルへの掲載を希望される場合の締め切りの目安は、以下の通りとします。

- 論文の部：1 月末日
- ノートの部：２月末日
- 書評の部：３月末日
- 論文紹介の部・年次大会報告書の部：４月末日

査読・判定期間は、通常 8～12 週間を要します。なお、9 月刊行号に掲載するためには、採用となった最終原稿が 7 月中旬までに提出される必要があります。

6. **査読・判定プロセス、および採否の通知**：

a) **論文・ノート部門**： ジャーナル編集委員会で原稿のテーマや内容を検討し、匿名で査読を行うための適切な査読者を選定します。通常は 2 名の外部査読者に依頼しますが、評価が大きく分かれた場合には 3 名目の査読者を追加することがあります。原則として編集委員以外の専門家に査読を依頼しますが、適切な査読者の確保が困難な場合には編集委員が査読を担当することもあります。その際も、可能な限り匿名性が保たれるよう配慮します。査読終了後、編集委員会内で判定を行います。判定では、査読者の評価・コメントを踏まえ、以下の 4 区分に基づき、採否および修正の要否を総合的に判断します。

- **採用**：修正なし、またはごく軽微な修正のみ（1 か月以内に対応可能）で掲載できると判断されるもの。
- **改定して再提出**：2～3 か月程度で指摘箇所を修正すれば掲載可能と見込まれるもの。
- **書き直し再投稿**：現段階では掲載が難しいが、評価できる部分があり、3～6 か月程度で書き直せば「採用」または「改定して再提出」となる可能性があるもの。
- **不採用**：基本的な点に問題があり、6 か月程度の書き直しを行っても掲載の見込みが立たないもの。

b) **書評部門：** 受理後、基本的にはジャーナル編集委員会において審査・判定します。採否は論文・ノートの部と同じ４区分（採用・改定して再提出・書き直し再投稿・不採用）です。

c) **論文紹介・大会報告書部門：**原稿は原則としてそのまま掲載しますが、研究倫理上の問題、他誌投稿との重複、内容の信頼性の欠如（生成 AI による誤情報・Hallucination を含む）、また大会報告書部門であるのにもかかわらず BATJ 大会での発表内容から大きく逸脱した場合などには、ジャーナルとしての公正性と信頼性確保のため、編集委員会の判断で掲載を見送ることがあります。ただし、こうした判断は極めてまれであり、査読ではなく例外的な編集措置として行われます。

7. **刊行後のレポジトリ等登録について：**執筆者は、査読を経て必要な修正を追加した後、BATJ による編集前の原稿（著者最終稿：Author Accepted Manuscript, AAM）を、所属機関のレポジトリまたは非営利の分野別レポジトリに登録することができる（商業目的のレポジトリは対象外）。ただし、著者最終稿（AAM）は、正式な出版日まで公開を保留（Embargo）する必要がある。著者最終稿（AAM）を公開する際には、以下の定型文を掲載するレポジトリに必ず記載すること：

「本稿は、BATJ により BATJ Journal にて[出版日][第〇号]に掲載された論文の著者最終稿（Author Accepted Manuscript）です。掲載先：https://batj.org.uk/journal/　再利用は非営利かつ改変なしの使用に限られます。」

"This is an Author Accepted Manuscript of an article published by BATJ in BATJ Journal on [date of publication], [issue number], available at: https://batj.org.uk/journal/　Reuse is restricted to non-commercial and no derivative uses."

（2026 年 9 月改定）

問い合わせ及び論文提出先：

ジャーナル・コーディネーター 段上知里
Dr Chisato Danjo, BATJ Journal Coordinator
School of Education, Language & Psychology
York St John University, Lord Mayor's Walk, York, YO31 7EX
E-mail:　c.danjo@yorksj.ac.uk / journal@batj.org.uk